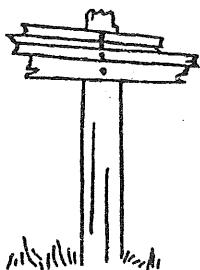


— 杉 8 だ よ り —

# 團 報

第 1 8 1 号

平成 6 年 10 月 31 日



ボーイスカウト東京連盟

杉 並 第 8 團

團 委 員 会 広 報

言ト幸良  
東 海 林 義 尚 氏  
(杉並第8団 団委員長)  
平成6年10月1日 ご逝去されました。  
永年にわたるボーイスカウト活動への功績を偲び、  
心からご冥福をお祈り申し上げます。



永遠のスカウト  
Once a Scout, always a Scout

- 1、一度スカウトに ちかいをたててなりし身は  
いつもいつもスカウトだ
- 2、一度スカウトに ちかいをたててなりし身は  
いまのいまもスカウトだ
- 3、一度スカウトに ちかいをたててなりし身は  
死ぬときまでスカウトだ
- 4、この世のスカウトに 命捧げてつかえなば  
死して後もスカウトだ

東海林団委員長は杉並第八団発足以来、団のため団付き医師として夏季キャンプを初め各種の活動、集会の度に、多忙中スカウト達のために協力を惜しまず、ご支援を頂き、前土屋団委員長を初め父兄の方々も大変心強く思って居りました。

その後、土屋団委員長亡きあと、昭和52年より団委員長として団発展のため、又隊員の指導、リーダーの養成に心を砕き尽力して下さいました。

先生のお人柄は、心は清く円やかで、責任感が強くボーイスカウトを、こよなく愛した行動は、隊員、リーダーを初め父兄の皆さんから非常に慕われていました。又、多忙の中、杉並地区協議会長にも任命され、その責務を全うされ数々のご功績により、東京連盟より表彰を受けられました。

又、毎年氏神白山神社の例大祭の夜の清掃奉仕には、率先垂範育成会の皆さんと共に、遅くまで活動して下さったお姿など、思い起こせば数限りなく在りし日の姿が走馬灯の様に蘇り、今尚眼前にある思いです。

昨年夏、体調を崩されて一意療養に務められて、快方に向かい復帰された姿に一同安堵の胸を撫で下ろしたものですが、本年再び入院、しかし不屈の精神力で五月には、二十五周年キャンプに病をおして、伊豆大島へ参加し、その折浜辺にて全員一緒に昼食の弁当を共にしましたが、先生は「ホン」の少し弁当の隅の方を一口位食べたのみでしたので、「先生、その様な少しでは、身体が持ちませんよ、もっと食べないと」と言うと、「食べられないのだ」と言われました。

先生はお医者さんで専門家ですから、ご自分の身体の様子は十二分に知っていると思いましたが、心配でした。

夕方より室内に於いて、当第八団二十五周年記念式典が開催された。その折、団委長は話の終わりに、態度の悪い一部のスカウトに対し、キツイ注意をしたことが、今でも頭の中に残って居ります。

又、七月三十一日の各隊夏季キャンプ出発式にも参列、責任を全うされたお姿が、私のお会いした最後になろうとは、神のみぞ知り我々は知るよしもなく、今一度元気になられんことを信じ又祈って居りました。

十月七日の朝まだき、長男の方よりのお知らせに接し、ただただ驚き言葉もありませんでした。会うは別れの初めとは知りつつも、この様に早く先生とお別れする寂しさは隠すべくもありませんが、先生の残された遺志を次代に引き継ぎ、みんなで力を合わせてしっかりと、団を守って行きたいと思います。

永遠の眠りの安からんことをお祈りします。

## "永遠のスカウト" 東海林団委員長

三指合掌

平成6年10月7日、突然の悲報にわが耳をうたがいました。病床におられても、八団の団委員長としてご助言をいただき、団の発展のためにご尽力願えるものと確信しておりましたのに.....。総会前(9月)の団委員会で平成7年度も団委員長にと話しあい、10月9日の上進、入隊式にメッセージをお願いした矢先のことでした。

東海林さん、あなたは本当にボーイスカウト大好き人間でしたね。

思い起こせば、八団の初代委員長、土屋さんがご逝去され、次期団委員長に推挙された時、「僕はボーイスカウトに関しては素人」と謙遜されていました。そして多忙な医師の仕事の合間にボーイスカウトの勉強をなさいました。

「たかがボーイスカウト、されどボーイスカウト」と口癖のようにおっしゃりながら、団委員長研修をはじめ、杉並地区協議会長、東京連盟健康安全委員、ジャンボリーでは日本連盟の医師集団にと、八団だけでなくボーイスカウト運動のために、骨身惜しまず努力されていました。

”八団家族”ということばも、あなたが言いだしたことばです。  
「永い年月には、波風もあるけど、皆ボーイスカウトが好き、八団が好き、楽しく協力して活動すれば素晴らしい団になる。誰のための団でなく、皆の団。本音で語りあえる団にしよう。八団家族！」

責任感と使命感においては、頑固一徹。キャンプでも寿楽荘の奉仕でも、寸暇をさいて現地にかけつけ、リーダーやスカウトと活動していました。

今年1月の25周年記念レセプションや5月の大島記念キャンプ、体力的にご無理をされたのではと心配でしたが、気力でカバーされたのでしょう。心から楽しそうでした。

あなたの情熱と意志を”八団家族”で引き継いでいきます。

お通夜、告別式には”永遠のスカウト”を捧げました。「この世のスカウトに 命捧げてつかえなば 死してのちもスカウトだ」 あなたこそ、この歌そのものです。

胸に制服と団チーフ、スカウト章のついたチーフリングが納棺され静かに旅立っていました。

東海林さん、あなたは心の広いやさしい人でした。20余年身近に接し感謝の気持ちと誇りを感じています。 心安らかにお眠りください。

副団委員長 竹之内 実

団会議・団委員会・合同／1.1NJ・夏キャンプ反省会・慰労会

6. 9. 3 (土)

竹之内 実

竹之内、加藤、桂、島田、野呂、大溝、高橋、

井川 (下司) 山口、廣瀬、高木、武信

(B S) 下司、山村、林

白山神社祭礼奉仕 (B S)

ご苦労さまでした。

\*. 9/7, 8 総会

赤い羽根募金奉仕 (C S, B S)

\*. 10/1 杉並区ふるさと祭り 模擬店奉仕

(カルピス、焼きそば、ジュース、ウーロン)

\*. 10/9 上進、入隊式 (大宮八幡神社)

終了後、新入隊員の父母への説明会 (B S活動について)

10/8, 9 B S グリンバー (班長、次長) キャンプ

10/9, 10 C S 一泊キャンプ

\*. 10/16 荻窪北児童館祭り (桃2小)

\*. 10/16 杉並福祉センター祭り (杉並福祉会館) (フランクフルト)

\*. 10/29 育成会 懇親会 (荻窪地域区民センター)

団委員会 6. 9. 10

竹之内、赤城、島田、加藤、桂、大溝、野呂、高橋、

井川 (下司) 山口、廣瀬、高木、武信

\* 上進、入隊式の件 10/9

\* 平成7年度、指導者 よろしく、お願いします！

C S : 山口隊長、(副長) 広瀬、高木、武信、渡部(真)

(副長補) 高木、山中、

B S : 下司隊長、(副長) 山村、儘田、大西、林(陽一)

S S : 宮崎隊長、(副長) 磯部

R S : 天野隊長、

\* ピーバー隊、発足の件

平成8年度(平成7年9月ーー)より発足！

早々に、設立プロジェクト、チームを結成し準備に掛かりましょう。

\* 団委員人事の件

新任等について、検討

## 各隊報告

- CS : 9/4 夏キャンプの反省会（ビデオ）、リス集会  
 　　" 母の会、父の会（夜は飲み会）  
 9/11 ソング研究会（武信副長、高木副長、山中副長補、  
 　　高木副長補が参加）  
 9/15 ユニセフ募金、雨で中止  
 9/18 くま追い出し隊集会（手作り料理でもてなし）  
 10/1 赤い羽根共同募金奉仕（10～12時）  
 10/9～10 秋の1泊キャンプ（大宮八幡神社）

- BS : 9/11 隊集会（上進を迎える基本訓練、上進入隊式の練習、  
 　　その後カントリーライド作戦）  
 9/11 ソング研究会（林副長が参加）  
 9/25 リーダー会議（班編成の件他）  
 　　（下司、山村、儘田、大西、林）  
 10/1 赤い羽根共同募金（15～17時）  
 10/8～9 GBキャンプ  
 10/9～10 新入隊員歓迎キャンプ

- SS : 9/12 隊集会  
 10/8～9 キャンプ（自転車ハイク）海沢  
 　　（スカウト、5人参加）

R S 隊隊員御父兄各位

### 育成会費納入のお願い

三指 日頃よりボーイスカウト活動には多大なる御理解とご支援を戴き大変ありがとうございます。御礼申し上げます。  
 　　さて、育成会よりもすでにご案内申し上げているかとは思いますが、育成会会費を下記何れかの方法により御納入戴きたくお願い申し上げます。

金額 年15,000円（兄弟で登録されている場合は一番下のスカウトの所属隊へ  
 　　納入ください。）

方法 1 隊集会へ持参  
 　　2 直接振込  
 　　3 弟の隊へ納入済

振込先 三和銀行 阿佐ヶ谷支店 普通預金 3731596  
 　　ボーイスカウト杉並8団 深沢 久子 名義口座宛



### 団委員会

6. 10. 8  
 　　竹之内、深沢、加藤、大溝、万田、  
 　　野呂、井川、高橋

- 1、東海林団委員長ご葬儀（10/10お通夜、10/11告別式）の打合せ  
 2、上進式、入隊式（10/9）の打合せ  
 3、平成7年度の名簿の作成について  
 4、団委員の研修旅行について（12/3～4）

### 団会議

6. 10. 8  
 　　竹之内、深沢、加藤、大溝、高橋、  
 　　天野、下司、山村、儘田、  
 　　山口、広瀬、武信、高木、

- 1、東海林団委員長ご葬儀のお手伝いについて

- 2、共同募金（10/1）ご苦労さまでした。

CS : 39名、BS : 22名 奉仕 133,038円

- 3、育成会費について（育成会からのお願い）  
 　　新年度の会費を年内に支払う様、お願いします。

育成会より 6. 10. 8

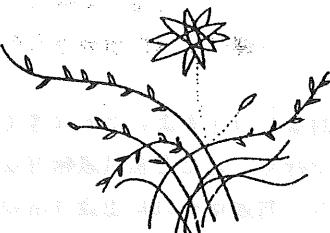
杉並ふるさと祭り（10. 1～2）模擬店奉仕 於：塚山公園

延べ数十名の方々のご協力により、お蔭様で盛会のうちに終えることができました。  
 　　ご奉仕ありがとうございました。（カルピス、焼きそば、ジュース）  
 10/14 反省会 or 打ち上げ

### 育成会主催の茶話会（育成会員の懇親会）

10/29 萩窪地区民センター

多数の方々のご出席を。特にカブスカウトの新しいご両親の参加をお待ちします。  
 　　多小のアルコールと軽食を用意致します。



10月7日東海林 義尚団委員長が亡くなられ、10日にお通夜、11日に告別式が執り行なわれた。5月の25周年キャンプが最後の行事への参加となられた。謹んでご冥福を御祈りしたい。

お通夜

10月10日 18:00～ 於 荻窪 願泉寺  
奉仕RS隊スカウト  
渡部(真) 山口 大津(雅) 渡部(輝) 前野 早川 太田 山村  
竹田(裕)

告別式

10月11日 10:30～12:00 於 荻窪 願泉寺  
奉仕RS隊スカウト  
林(陽) 渡部(真)

### 11月隊集会秋季キャンプについて

日 時 11月18日21:00～11月20日12:00 (コアタイム)  
場 所 武藏五日市 逆沢  
参 加 費 1食に付き300円 (但し交通費はオフィシャルカー以外自弁)  
テ マ ローバーリングについて (ディスカッション)  
今年度の活動について  
久々に野外で羽根を伸ばそう!  
詳細については次回10月隊集会にて。

日 時 10月27日 (木) 20:00～22:30  
場 所 天野隊長宅  
テ マ 今年度活動計画について  
秋季キャンプについて  
ローバーリングについて 他

9月からまた新しい年度が始まった。今年度は、年間テーマを『ローバーリング ツウ サクセス』とすることにした。毎回隊集会記録の最後にB.P.輝の著書である『ローバーリング ツウ サクセス』からいろいろ引用しローバーリングについて理解を深めていきたいと考えている。

ローバーリングとは.....

ローバーリングとは、目的なしのさまよいだとは考えない。はっきりとした目標を見つめ、愉快な道を進んで行くことだと私は意味付けている。そして、その道中には苦難もあれば危険もあり、君達はそれに出会うものと考えてのことである。

(19ページ)



### CS隊夏期キャンプに参加して

団委員 野呂忠夫 (健康安全担当)

今年の夏は例年になく暑い日が続き、気象庁の発表でも全国的に30℃以上の真夏日、さらには関東以西では35℃以上の日数が記録を更新し続けておりあたかも日本が熱帯地方に移動したかの感があった。

この暑さをふっ飛ばすように、CS、BSおよびSS隊のキャンプが共に南アルプス天然水で一躍有名になった白州町で約2週間の間を置いて行われた。

CS隊キャンプには私も全日程参加することができ、久しぶりにスカウト達と共にあらためて心が洗われるような楽しい4日間を過ごすことができた。

プログラム面では「デン付近の探険」「きもだめし」、ポイントOLを課題とした「ハイキング」「じゃがいも掘り」「野外料理」「水遊び」「星空観察」、残念ながら収穫は0であったが「かぶと虫とり」等々多彩を極め、普段東京では経験できない自然とのふれ合いを十分に楽しむことができた。

その上、幸か不幸か第1日目の肝だめしの下見の時には台風14号の余波をうけて、どしゃ降りの夕立ちに見舞われたものの、第2日目のハイキングではやや雲の多い日となって猛暑を免れ、第3日日の水遊び、星空観察の日には再び晴天に恵まれ、持参した望遠鏡で月のクレーターをスカウト達に見せることができ、ちょうどプログラムに合わせたような天候であった。

ただ、ポイントOLのハイキング・コースはCSスカウトとしては少しハード過ぎる距離かな?..と始めは危惧したが、幸い誰1人として落伍者も出なかったことは、この位は訓練としてはむしろいいのかナ!..とも思われた。

期間中大きなかがも病人も出なかったことは、私にとっては本来の参加目的である健康管理については全く心をくばる必要がなく、もっぱら趣味のビデオ撮影と、久しぶりに夜半にテントから起きだして見た満天の星空を満喫することができた。

このように皆がキャンプ生活を十分に楽しむことができたのは、ひとえにリーダーの皆様の周到な計画と準備によるることは言うまでもなく、育成会の皆様がデン・マザー、デン・ダットとしてお手伝い頂いたお陰と、さらに、竹之内副団委員長、島田、高橋両団委員、儘田BS隊リーダーのご援助があつたことによるものと感謝いたします。

第1回日本ジャンボリーに参加して  
東京36隊 隊長 廣瀬 喜治

初めて参加した日本ジャンボリーの印象は、「スカウト達のすばらしさ！」  
期間中の強烈の暑さの中で自由に子供らしく、そしてスカウトとして活動した。  
灼熱の太陽の下スカウト達は一日で真っ黒になり、白い東京っ子はどこへやら。  
大自然の中で、ジャンボリーのプログラムを次々とこなす。  
暑さのため水分を取りすぎ、食欲も減退気味でした。出来る限り、食べ、よく寝て、出す、  
を心がけさせ、とにかく無理させませんでした。

野外生活の楽しさを、簡素で、心豊かな気持ちで過ごすことを心掛けさせる様に努める  
毎日。スカウト達が今までのスカウト活動を通して、友情を深めお互いに助け合う、自分  
のことばかりではなく常に相手の事も考える様に成ってきたのは、とてもうれしかった。

スカウト全員が大した病気もせず、水泡が出来るほどの日焼けをしたけれど、怪我もなく、事故もなく、本当に良かった。

そして、全員パイオニア賞を取得出来たのでホットしました。

第4サブキャンプの武井野営長よりスカウト一人一人に  
「おめでとう！」と声をかけ、握手をしてメダルを首にかけて頂いた時のスカウトの笑顔、  
目の輝き、そして「やったぞ！」と・・・。日焼けして皮がむけ、まだらになつた黒い顔  
が暑いジャンボリーの太陽の下で輝いていた。

ジャンボリーは「スカウトのお祭り！」と聞いていましたが、それではなく、  
このキャンプを通していろいろの事を経験した、大きな大会に参加するチャンスに恵まれ  
たスカウトは幸運だったな、私を含めスカウティングにおおいにプラスに成ったと思う。

当初、副長という役務で参加したのですが、いろいろアクシデントがあり、  
突然東京36隊の隊長を任命されたときは、私自身本当に務まるのかな？と思いました。

出発寸前まで平方コミッショナーはじめ。鈴木委員長、38隊の国分隊長、

37隊の平野隊長には、本当にお世話になり誠にありがとうございました。

とくに平方コミッショナーには御多忙の中、私のために時間を割いて頂き、

ご指導して貰いました。言葉に表せない位です。

私自身もっとしっかりしていればと反省ばかりしています。

最後に、36隊の各リーダーには本当に御苦労様でした。

私みたいな者が隊長で申し訳なく思っています。

期間中、内藤副長、菅沼副長にまかせっきりで隊長の役目もせず、ただ居ただけで申し訳  
なく思っています。

また、隊付の川上君、荻原君、高橋君、スカウト達を盛り上げたり、締めたり、良く隊を  
まとめてくれました。

そして上級班長の下司君は、リーダーとスカウトのパイプ役になり、一番大変だったので  
はないかと思います。

それぞれが個性をもって、スカウト達を気遣い、励まし、笑い、隊を運営してくれたお陰  
で、36隊が全員無事で帰れたのは皆の力です。感謝します。

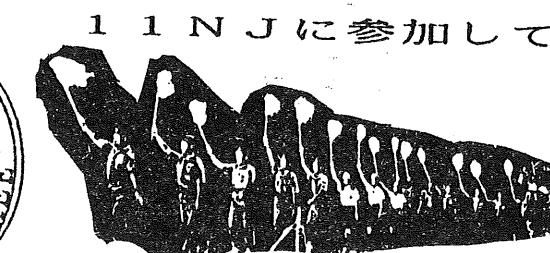
そして、何よりもうれしかったのは、スカウト達が隊長を支えてくれたことです。

36隊閉村式のセレモニーのとき、スカウト一人一人のサイン、副長、隊付、上級班長達  
の温かいメッセージの入った地区記念のTシャツを貰ったとき、

胸にあついものが走りジーンとなった。ありがとう！！



パイオニア賞を、この胸に  
久住高原よ、熱い思い出をありがとう



東京第36隊

岡田 庄生

ジャンボリーといえば、とにかく暑かったことしか思いだせない。  
つかれたのは到着した日と帰る日だけだったけれど、アリーナに行くのもとてもつかれた。

一番心にのこったのは、これと言ってないけれど、まずバス、船  
の旅が楽しかった。

いろいろな弁当がたべれたり、すごく沢山ねむれた。  
ちなみに一番いやだったことは、荷物をJRさんにはこんでもらえ  
なかつたことだ。

一番大変だったのが、朝昼晩の食事を作ったことだったです。  
シチューかなにかを作ったけど、けっこう大変だった。  
大きいおかげで御飯をたいたのは初めてだったけど、班ごとでやる  
よりずっと効率よかったと思った。

おもしろかった事といえば、まずいろいろなゾーンにいったこと  
かなと思ってます。

その他に、サインの交換がとてもたのしかったと思います。  
外国人の人や北海道からおきなわまで、全国の人にサインをもらいました。

ぼうしも替えたし、ネッカチーフもかえて、チーフリングも新しい  
ものになりました。

暑くて大変だったけど、それなりに楽しいジャンボリーでした。

東京37隊 副長 高橋廉二

燐然と輝く太陽と、ガスボンベの火、とにかく日中は、暑かった。  
麦茶、作れども、作れども、在庫増えず。

それより、なにより、パイオニア賞について、滑り込みセーフの  
スカウトもいたが、各隊長のご苦労もこれあり、全員取得。  
スカウトも、よく頑張った。私は云った。

「やれば、できるじゃん、メダル大事にせーよ。」

キャンプで、一番大変なのは、設営、特に、撤営。

改めて知ったと思う。これからも、キャンプの度に、心しよう。

若干、体力に疑問ありのスカウトもいたが、彼らが大人になった  
ら、この体験が、きっと、生きる事だろう。

WB (ウッドバッジ) 研修所に参加して BS副長 林 陽一



今までの私は、副長補という立場もあって、リーダーというよりも兄貴分としてしか、スカウトと接することが出来ませんでした。

リーダーとしての知識も心構えも足りなかつたと思っていました。今回研修所に参加させて頂いて、今までの疑問も解決し、今年度は、よりパワーアップした私をお見せすることが出来ると思います。

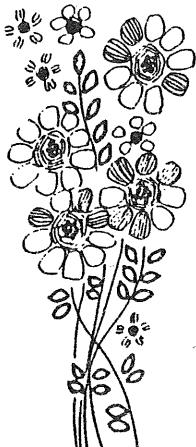
そこで、スカウト諸君は覚悟しておいて欲しい、そう思っています。

以上

\*コメント\*

下司隊長、儘田副長、林副長の3名は、6. 9. 15～9. 18 WB研修所に参加し、いずれも、優秀なる成績で無事卒業されました。

お疲れさまでした。研修成果を生かして下さい。  
次回は、下司隊長、儘田副長の感想文が期待される。



====あとがき====

まず、団報の発行が久し振りとなりました事を、お詫び致します。  
11NJへの参加、各隊の夏キャンプへの参加、それから大島キャン  
プの感想文特集号もやっと先般出来上がったばかり。

言い訳しても始まらない。ワープロにも少し慣れて来ました。  
頑張ります。

東海林先生、これまでのご指導本当にありがとうございました。  
安らかにお眠り下さい。